

新講座

＜広報の学校＞

「広報効果測定講座」のご案内

— 9月29日(金) 10:00~18:00 —

広報の学校
(共同PR株式会社)

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

広報効果測定はこれまで広報部門にとって最も困難かつ重要な『永遠のテーマ』と言われ続けてきました。経済広報センターの「企業の広報活動に関する意識実態調査」でもずっと広報部門の日頃の悩みで他の項目を大きく引き離すトップ項目の座を占め続けてきました。

そもそも効果測定は目標が明確、かつ比較可能な指標で、体系的に階層化された数値として設定されることが不可欠です。かつ、最終的な成果の KGI(重要達成指標)と PDCA サイクルのプロセス管理指標の KPI との因果関係を明らかにして PDCA サイクルへフィードバックすることで初めて意味をもつのです。

しかも、今は「数字や指標で具体的に成果を示せない活動には予算はつけられない」時代です。「広報は数字では測れないもの」といった論理はとっくに通用しなくなりました。やむなく多くの広報部門ではメディアの掲載量を広告換算する手法を利用してきたのが実態です。広報活動は社内から活動実態とその成果が見えづらい特徴ゆえに、その重要な役割が評価されず単なるコストセンターと見られがちです。広報部門が中軸業務のコーポレートブランドの維持・強化に加えて、インナーモチベーションの活性化や企業の危機対応力の源泉である組織文化、企業風土としてのリスク認識・耐性強化といった新たな役割を果たすのにも広報効果のみえる化が必要なのです。

メディア自体が大きく構造変化し、情報接触のパラダイムシフトが今起こっています。活字メディアは高齢者中心の媒体となり、TV も若年層の TV 離れに加えリアルタイム視聴からながら視聴へと大きくシフトする一方、ソーシャルメディアが大きなパワーを持つに至りました。ニュースはソーシャルメディアで知る時代、信頼できる情報源は企業のオウンドメディアと知人・友人とネットの口コミ情報という時代が到来したのです。こうした時代にあって、広報活動にとって効果測定がなぜ必要かといった本質から考えることが必要になっています。

本セミナーは、広報効果測定に関する基礎から実務知識までをトータルに学ぶ体系的・実践的研修修です。広報の基礎、実務教育の一環としてご参加下さいますようご案内申し上げます。

敬具

「広報効果測定講座」実施概要

- 対象者： 広報部門の責任者・担当者
- 講座概要： 詳細はカリキュラムをご覧ください。
- 日 時： 2017年9月29日(金) 午前10時～午後6時
- 講 師： ●秋山 和久 株式会社タンシキ 代表取締役 兼 経営・広報研究所長
●呉 慶和 PR 総研客員研究員、工学院大学大学院システムデザイン専攻講師
●篠崎 良一 PR 総研 所長、広報の学校 学校長(共同ピーアール株式会社)
- 会 場： 広報の学校 銀座教室(共同PR株式会社 研修室)
東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル3F
- 定 員： 35名
- 受講料： 3万5千円
(消費税、レジュメ・資料、昼食代含む) ※当日は昼食にお弁当をご用意いたします。
- 申し込み： 受講申込書にご記入の上、FAX でお申し込みください。
- FAX 送信先： 0120-653-545 広報の学校「広報効果測定講座」係
- 締め切り： **9月28日(木)** ※お申し込み順、定員になり次第締め切りとさせていただきます。
- 受講料支払方法： 下記の口座にお振込み下さい。
三菱東京UFJ銀行 銀座通支店 共同ピーアール株式会社
普通口座 0656224

※請求書が必要な方は申込書にご記入ください。
※当日、現金でのお支払も可能です。(領収書を発行いたします)
※受講料の払い戻しは応じかねますのでご了承ください。
※お申し込みされたご本人が参加できない場合の代理参加は可能です。
※参加者が少数の場合、実施しないこともございます。(受講料は返金いたします)

共同PR株式会社 広報の学校 事務局 大八木、篠崎

TEL: 03-3571-5179

FAX: 0120-653-545

e-mail: kohonogakkou@kyodo-pr.co.jp

<https://www.kyodo-pr.co.jp/school/>

広報効果測定講座 カリキュラム

10:00~18:00

	時間	テーマ	内 容	講師	
第一部	10:00~10:50	広報効果測定的前提と目的	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそも広報の目的は？<目標設定と効果測定> ・広報活動の基本要素<①誰に（ターゲット）②何を（キーメッセージ）③どのメディア（ターゲットメディア）で④どの方法（PR手法）で伝え⇒⑤どういう行動（態度・行動変化）を取ってもらう> ・2つのパラダイムシフト<①情報接触の5つの構造変化②ターゲット自体の変化（マスの消滅とクラスター・小集団化）> ・効果測定に関する7つの原則（バルセロナ宣言） ・広報効果測定のKGIとKPI<KGI=アウトカム指標、KPI=インプット指標、アウトプット指標> 	篠崎 良一	
	10:50~11:00	休憩			
第二部	11:00~11:45	企業広報と効果測定	<ul style="list-style-type: none"> ・マスメディアの影響力低下に伴う企業広報の変化 ・広報効果測定のための3つの側面（目的・用途） ①目標設定 ②改善 ③報告 ・企業広報における一般的な効果測定方法 ・企業広報で重要性が増す企業サイト 	秋山 和久	
	11:45~12:45	昼食			
	12:45~13:30	効果を測定する前提（目標設定）	<ul style="list-style-type: none"> ・企業広報、企業サイトの目標設定に必要なこと（企業広報の目的の明確化/目標の記述方法） ・外部機関のイメージ調査の良いところ・足りないところ ・達成指標を設けるための認知度調査のポイント ・コーポレートイメージを測定するポイント ・社内360度評価の有効性 		
	13:30~13:45	演習	・目標設定演習		
	13:45~13:50	休憩			
	13:50~14:10	改善・報告のための測定・活動指標（広報の質的成果を測る方法）	<ul style="list-style-type: none"> ・企業サイトで良くある課題 ・アクセス解析の良いところ・足りないところ ・企業サイトの目的別の指標例 ・SNSの活動指標例 		
	14:10~14:25	質疑応答			
	14:25~14:40	休憩			
第三部	14:40~15:40	ブランド広報効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランドの定義と広報戦略 ・企業活動におけるブランドパワーとは ・ブランドパワーの測定（ケーススタディー） ・効果測定を次のブランド広報戦略に活かす 	呉 慶和	
	15:40~15:50	休憩			
	15:50~16:50	次世代のコミュニケーションモデルと広報の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションモデルの変化と広報戦略 ・コミュニケーションステップとメディアの役割 ・ステップ別KPIの設定 ・クロスメディア分析 ・社内モチベーション向上と広報戦略 		
	16:50~17:00	休憩			
	17:00~17:40	危機管理広報	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理広報とはなにか ・予兆事象を捕まえ、危機に備え、回避する ・ダメージを測定し、ピンチをチャンスに変換する 		
	17:40~18:00	まとめと質疑応答	・全体の質疑応答		

講師プロフィール

■ 秋山 和久

株式会社タンシキ 代表取締役 兼 経営・広報研究所長

静岡県立大学国際関係学部卒。媒体側(記者)、受注側(PR会社、広報コンサル)、発注側(広報実務)をすべて経験した広報コンサルタント。多様な立場の経験を活かし、広報戦略策定や目標設定、広報人材育成、広報組織の再編等、広報のマネジメント領域を支援する株式会社タンシキを2016年6月に設立。

企業ごとの認知度・イメージ調査や、報道記事の認知度測定、企業サイトの閲覧効果測定など、広報効果測定領域に関する実務・支援経験も多い。社内外の広報活動・広報ツールの第三者評価も数多く手がける。

■ 呉 慶和

PR総研客員研究員、工学院大学大学院システムデザイン専攻講師

東京理科大学理学部応用化学科卒。理想科学工業、日本カラーデザイン研究所、トータルメディア開発研究所、日本アプライドリサーチ研究所経営・マーケティング開発室取締役主幹研究員を経て現在、株式会社ドゥリサーチ研究所主幹研究員データストラテジスト、工学院大学大学院システムデザイン専攻講師。

専門分野は「調査」「ブランド開発」「ブランドメッセージ開発」「ブランドVpI開発」。著書に『再入門利益が上がる「市場調査」のやり方』。マーケティングサイエンス学会、オペレーションリサーチ学会、各会員

■ 篠崎 良一

PR総研所長(広報の学校 学校長)、広報コンサルタント、危機管理広報コンサルタント、メディアトレーナー

早稲田大学第一文学部社会学専攻卒。出版社(日本実業出版社、ローリングストーンジャパン)を経て、共同ピエール(株)入社。取締役副社長を経て現職。2003年5月『広報の学校』を開校。2013年1月『PR総研』を設立。企業・団体の総合広報コンサルティング、TOP 広報コンサルティング、広報戦略策定、広報活動調査、広報部創設・育成指導、メディアトレーニングを担当。

著書に『入門メディアトレーニング』(アニモ出版)、『実践企業広報マニュアル』、『会社を守る!もしものときのメディア対応策』(共にインデックス・コミュニケーションズ)、『広報・PR概論』(共著、同友館)、『広報・PR実務』(監修、同友館)、『パブリックコミュニケーションの世界』(共著、北樹出版)他がある。

(社)日本PR協会認定『PRプランナー』試験委員。

広報の学校「広報効果測定講座」係

FAX:0120-653-545

または 03-3574-1005

※キャンセルは前日までに必ずご連絡ください。

広報の学校「広報効果測定講座」申込書

日 時：2017年 9月29日（金）午前10時～午後6時

会 場：広報の学校 銀座教室（共同PR 研修室）

東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル3F

申込日：2017年 月 日

貴社名		部署・役職 名	
御名前		☎	
御住所	〒	FAX	
		e-mail	
請求書	要（ ） 不要（ ）		
請求書送付先	※ご送付先が上記と異なる場合のみ、ご記入ください。		
昼食	要（ ） 不要（ ） ※ご不要の場合でも受講料は同じです		
《通信欄》			

■お申込みはFAXでお願いいたします。

FAX:0120-653-545 広報の学校「広報効果測定講座」係

■受講証を参加者様宛てにご送付いたしますので、当日ご持参ください。

■お申し込みされたご本人が参加できない場合の代理参加は可能です。

■受講料の払い戻しは応じかねますのでご了承ください。